

[月刊] 1988年6月18日第三種郵便物認可

トマ喰い虫

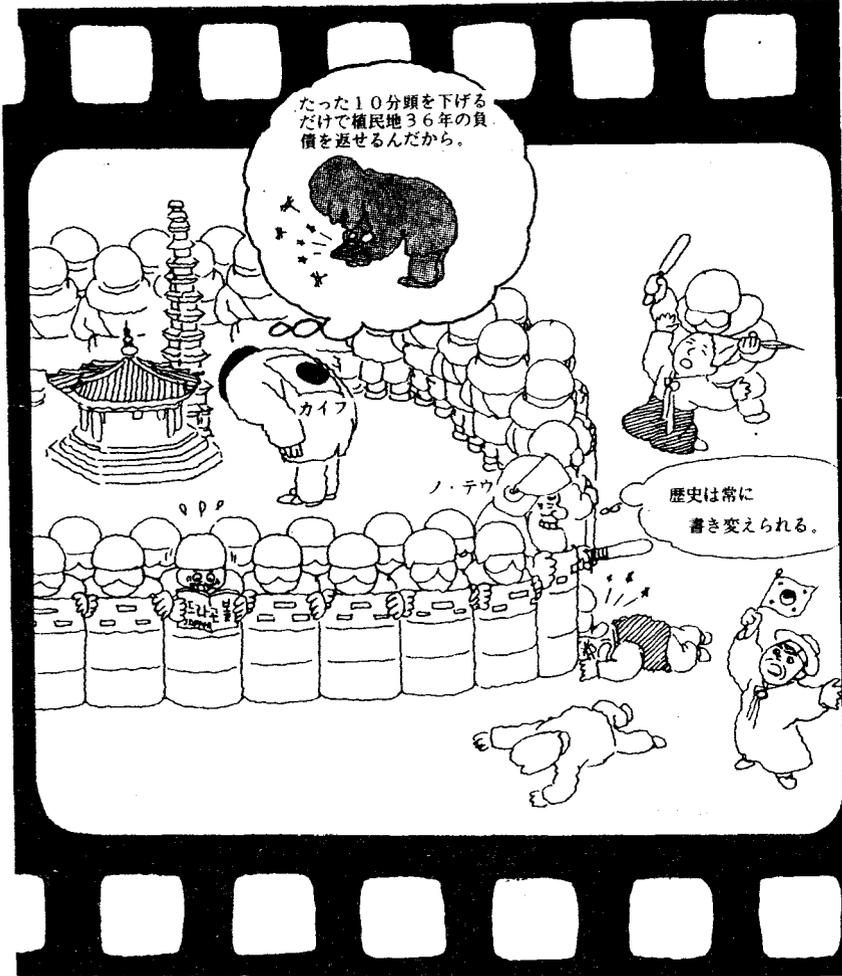
〒150 東京都渋谷区渋谷2-5-9 パレ青山502
トマ喰い虫社

☎03(498)6095 大塚校
045(563)5101 いつでも
FAX045(563)9907

郵便振替 東京6-136148

No. 70
91.8.20
定価 100円

パゴダ公園の出来事



みんなでヨコスカへ！
平和船団を出そう！

9/11 インデペンデンスがやって来る

イ・ヒジェ作 (『^{ソング}大田からの声』No.15 : 大田・忠南道キリスト者
社会運動協議会国際連帯委員会発行より)

[発行] トマホークの酉配備を許すな！ 全国運動

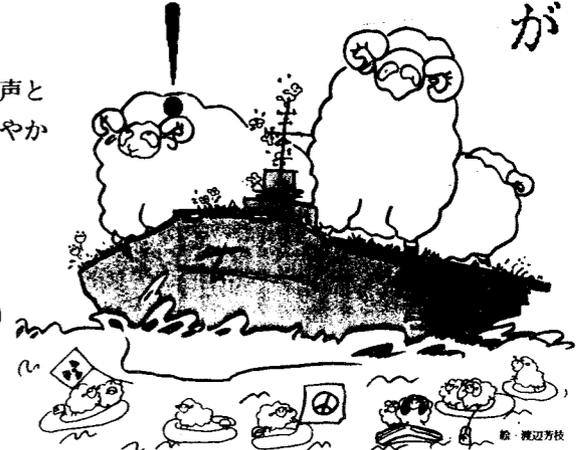
- 維持会員 (月間会費)
 - 団体 1口 2000円
 - 個人 1口 1000円
- 参加会員 (月間会費)
 - 団体 1口 1000円
 - 個人 1口 500円
- 通信会員
 - 年間 1口 2000円

あなたも仲間！ (会費は本誌購読料を含みます)

9/11

インデペンデンスが やつてくるー だからみんなぞ

ヨコスカへ！



そのインデペンデンスで 火災事故 兵士一人が死亡

50隻の 平和船団

目標達成までもう一息。もう登録はすませましたか？ 入港時刻はまだわかりませんが、多分朝早くになるでしょう。準備の人手もたくさん必要です。前の晩から臨海公園にテント村を作るなど「宿」も準備します。船に乗ってみたい人連絡ください。

陸の上でも 抗議行動

デモもやります。 午後1時◆横須賀臨海公園集合。 1時30分◆デモ出発 色とりどりのデコレーションや鳴り物、歌声と元気を持ってきてください。思いっきりにぎやかなデモにしましょう！

毎日デモも 始まる！

非核市民宣言運動ヨコスカ (☎0468-25-0157) のよびかけ。

9月1日から10日まで 午後7時◆汐入駅前公園(京浜急行「汐入」下車すぐ)集合。

空母の母港は もういらぬ

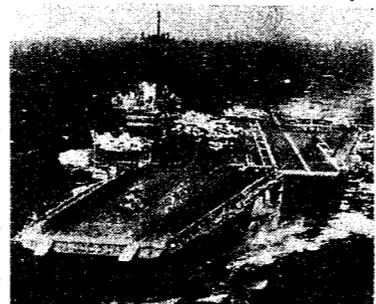
【ロサンゼルス8日】同日、在日米海軍横須賀基地に配備のため米カリフォルニア州サンディエゴを出港した空母インディペンデンス(八〇、六四三)は八日午前一時四十五分(日本時間同午後五時四十五分)ごろ、カリフォルニア半島沖を航行中に液化酸素貯蔵庫から出火、間もなく消し止められたが、乗組員一人が死亡したほか、七人が軽傷を負った。 火災の原因は調査中。インディペンデンスは横須賀を母港とする空母ミッドウェイと交代のため五日、サンディエゴの海軍基地を出港したばかり。 同半島沖で一週間の予定で艦載機の離着陸訓練をしていた。ミッドウェイも九〇年六月、房総半島沖で火災事故を起こし死者を出している。

日本へ出港の 米空母で火災 一人が死亡

【ロサンゼルス8日】同日、在日米海軍横須賀基地に配備のため米カリフォルニア州サンディエゴを出港した空母インディペンデンス(八〇、六四三)は八日午前一時四十五分(日本時間同午後五時四十五分)ごろ、カリフォルニア半島沖を航行中に液化酸素貯蔵庫から出火、間もなく消し止められたが、乗組員一人が死亡したほか、七人が軽傷を負った。 火災の原因は調査中。インディペンデンスは横須賀を母港とする空母ミッドウェイと交代のため五日、サンディエゴの海軍基地を出港したばかり。 同半島沖で一週間の予定で艦載機の離着陸訓練をしていた。ミッドウェイも九〇年六月、房総半島沖で火災事故を起こし死者を出している。

インデペンデンスの 非核化と アジアの軍縮

● 梅林宏道



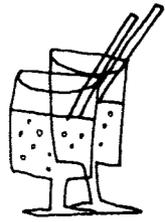
国際的な軍縮は民衆の政治空間を広げる。これが本当かどうか、十分に立証する用意はいまない。しかし、さまざまな紆余曲折はあれ最近の世界情勢をみると、この命題に対する懐疑心よりも信頼感のほうが、私の中で強まっている。平和や環境保護を目指す民衆運動の国際的な共同作業が進む中で、かつて大団間の軍縮が戦争を準備した歴史の繰り返しをチエックする民衆の力が育ちつつあることを感じているからだろう。

で果たすべき平和へのリーダーシップは何かという文脈が基本であった。さらに付け加えるならば、この基本文脈には、原則論議には終始しない政策議論まで発展させようという文脈があると思う。運動家の観点から言うところのことは国際政治のダイナミズムをとらえて日本が何をするか、と私たち日本の民衆が考えることだと思ふ。

冷戦後のアジア太平洋の軍縮をいかに加速させ、アジア太平洋民衆の民主主義と自決のための闘いを取り巻く国際政治の自由空間を少しでも押し広げてゆくか。それが、いま日本の平和運動に与えられた緊急の課題であると私は思う。 日本のPKO参加問題という形で問われている「国際貢献」の議論も、日本が国際社会

この文脈の中で、次の三つの課題に関心を払うべきだと私は考える。 一つはいわゆるPKO問題と自衛隊軍縮をセットにした議論、もう一つは武器禁輸問題への日本のインシヤチブの問題、もう一つは日本の非核化問題である。この三つはアジアの国際政治と密接に関連した課題であり、「国際貢献」を口にするときどの一つも看過し得ない。 九月一日に、次期空母インデペンデンス

が横須賀を母港にするために入港しようとしている情勢の中で、第三の課題について要点を記したい。 もし、日本の反核運動が海部首相に「空母インデペンデンスは非核である」と米国に言わしめるのに成功すれば、その国際政治におけるインパクトは極めて大きい。これは、例外的にせよ「核の存在を否定も肯定もしない」という米国の政策(NCND政策)を破らせたことになる。そして、この例外は、現在進行中の朝鮮半島の軍縮問題に直接的な影響を生むはずである。逆に、インデペンデンスの非核化問題で日本で世論づくりが出来ないまままで終われば、韓国の核兵器撤去問題で日本は大きなマイナスの貢献をすることになる。アメリカは、韓国の非核化を日本式に解決しようとしている。これは朝鮮半島の軍縮、ひいては統一にとって大きな障害を残すことになる。 これはほんの一例である。フィリピン、ASEANとアメリカとの新しい関係に与える影響も大きい。 NCND政策というようなアメリカの基本政策は簡単には変らない、と考えるのは誤りである。過去にも、世論が強ければアメリカは例外を作ってきた。反核運動の高まりの中で、ヨーロッパの中距離ミサイルの配備基地



ぼくも行きました。一九七二年の八月十五日頃で、そのころすでにミッドウエー母港の話がありました。

七一年秋頃から、横須賀の市民運動は大きなごたごたの後の整理段階で、一人ないし三人の小さなグループが沢山出来ていました。ぼくもある映画の上映会をやっていました。みんな反基地運動を続けていかなければならないと思っていたんだけど、組織づくりの下手な人ばかりが集まっていた。

梅林 今も同じですね。(笑い)

新倉 そう。そんな時に今の事務所の場所で、ピクトリア良潤さんたちが反戦米兵の支援運動を始めたのにそれぞれがかかわり始めました。それが今の市民グループの原型になったと思います。七二年には事務所が集まった人たちが、ミッドウエーの母港についてキチンとやろうと、いろいろと話し合いを繰り返していったんですね。そして七三年の一月に、自分たちの初めてのデモをやったんです。

その時には、まだヨコスカ市民グループという名前があつたわけではなくて、いろんなグループや個人の名前をベタベタと並べてやっただけです。

デモのスローガンは三本柱でした。一つは「空母ミッドウエーの母港反対」。そして「三浦半島の環境破壊を食い止めよう」というのがあつて、それから「馬鹿にされるのはもう止そう」というのだったんですね。今流に言うところ、環境、人権、環境保護に関しては、石けんの共同購入を男たちだけで始めていたり、いろんなことをやっていました。

週に二回、街頭行動の日を決めて一回は基地の問題を、もう一回は合成洗剤や環境の問題を駅前ですました。その上に定例会議が週に二回もあつたりして、とにかく元気でした。

梅林 いずれにしても、ヨコスカ市民グループの一八年はミッドウエーの母港一八年とそのまま重なる訳ですね。

新倉 そうです。ただ、さつき梅林さんが同心円的な広がりの中で世の中が変るといふ感じについて言ってみましたけれども、ぼくらはそういうのが全く無かったですね。もっと個人的な思いでやっていた。でも、ミッドウエーの母港がされてしまった、運動の潮が退くという現象を目の当たり体験したときに初めて、

少し考えなければと思いましたがね。

●持続すること

梅林 母港一八年の推移を時代区分をしながら考えてみたいと思います。

最初はベトナム反戦運動の大きな波の中で母港反対運動があつたと思います。一九七五年頃まではそうでした。次の大きなエポックは、一九八一年のライシヤワー発言だったと思います。核持ち込み問題が運動にも大きなインパクトを与えました。続いて一九八四年の米海軍の核トマホークの配備という事件がありました。トマホークは空母そのものに配備されるわけではありませんが、空母の随伴艦の母港でもある横須賀に大きな影響がありました。特に、一九八八年にトマホークを装備したバンカーヒルとファイフが横須賀を母港にする事態を迎えるに及んで、空母の母港とトマホーク艦母港とは一体のものとしてとらえられるようになったと思います。そして今回の大型空母との交替という事態を迎えました。予測は以前からあつたのですが、はっきりしたのは一九九〇年でした。

このような時代の変遷の中で、横須賀の市民グループの運動はどのように変遷したので



を、結局明らかにしたのには良い例である。その例外はやがてはINF全廃条約へと発展した。

加えて、NCND政策見直しの気運がペンタゴンの中で生まれている。クロー前米統合参謀本部議長らは、最近「戦略原子力潜水艦以外のすべての船の核兵器を撤去することがアメリカにとつてもソ連にとつても利益である」と主張している。

市民運動も頑張るが、マスコミや政治家の敏感な反応を促したい。

対談●梅林宏道／新倉裕史(非核市民宣言運動ヨコスカ)

「母港」とたたかつた十八年間

新しい共感を求めて、明日へ……

●一九七三年、反母港市民グループ

梅林宏道 最初に、一八年前、つまり一九七三年の空母ミッドウエーの母港時を振り返って見たいと思います。

ぼく自身について言えば、その前の年に相模原の戦車阻止闘争があつて初めて市民運動に飛び込んだばかりでした。大闘争のあと米軍相模補給廠の徹夜監視が始まつていて、二年間の二四時間監視の真つ最中でした。疲れていたけれどもみんな元気があつたのを思い出します。自分たちの活動の同心円の広がりで世の中が変るみたい、単純で楽天的な気分があつたように思います。

ミッドウエー母港は、ベトナム反戦運動の

中で当然のように共通のテーマになりました。反母港が、自然に反戦運動の共通のテーマになった社会状況は、今回のインテンペンデンス母港の場合と比べて、大きな違いだと思います。

ぼくが、新倉さんたちの企画した母港反対毎日デモの最初の日に参加したときの感想文を最近読み返しました。相模原でも毎日デモの経験があつて、それと比べて横須賀には、横文字のネオンが並ぶバー街など基地のにおいの染みついた街という雰囲気があつて、ここでの反基地運動は、ここで日常生活をおくる市民の手によって続けられざるを得ないだろう。相模原でも運動のピークが過ぎたあとに何が残るかを考えることが大切だ、というようなことを書いていました。

新倉裕史 相模原の戦車阻止のテント村に

しょうか。

新倉 ベトナム戦争が終わってライシャワ
ー発言までの時期は、「いかに持続するか」
というテーマがすべてであったように思いま
す。空母母港が強行されてしまうと目に見え
て人が去って行く、あれではよくないとい
う気持ちが強かったですね。

梅林 市民グループの旗は「軍都解体」と
染め抜いてありますね。あのスローガンは
つからなのですか。

新倉 今の旗は三代目ですけど、「軍都解体」
というスローガンは最初からです。

梅林 「軍都解体」というのは、大きな目
標ですよ。単に、持続ということでは無か
ったと思うんですけど。

新倉 運動の波が退いていったときに、こ
の街ではどうして反基地運動が育たないん
だろう、と考えるわけです。そこで軍都の自
覚を新たに。軍都の歴史を学習しました
そして、自分たちは軍都に住んでいるんだと



いう自覚を徹底的にするところから出発しな
ければならないと話し合いました。

「われわれの暮らしそのものが軍都解体の
層にならなければならぬ。」「当時そんな風
に表現しました。定例デモを始めたときにも
基地や軍艦のスケジュールに振り回されるの
を止めて、「デモによって自分たちの層を作
る」と言う積極的な意味があったんですよ
実際には、定例化をして自分を縛るという現
実的な理由が大きかったですけど。(笑い)

一九七五年からデモは月例デモになって現
在にいたっています。七七年から八〇年にか
けて相当ピンチで五、六人で歩くこともあり
ました。

●反核に乗り出す

梅林 ライシャワー発言を契機に反核に力
を入れ始めますね。最初、反核運動には相当
強い警戒心を持っていたようですね。

新倉 一つは、ミッドウエーの乗艦拒否を
したマイケル・ハモンドの事件があります。
彼は軍法会議の席上「ミッドウエーは横須賀
に核を持ち込んだ」と海軍の違法を追及した。
いろんな政党や団体が「核持ち込み証言」に

す。基本的には力がないから。知識とか、ほ
かに力にする何かがある訳ではない。だから
あの総括は間違っていないんだけれども、適
当じゃなかったかもしれない。

梅林 いや、あの総括は多くの人が自分に
も心当たりがあつて共感を呼んだと思います
よく自身もそうでした。七〇年代に自立した
市民運動で頑張ってきたグループは、大組織
が頑張りがれないところを頑張り通すこと
よって自分たちの存在理由を発揮していたと
思います。しかし、大きく言うと運動は成功
していない。そういう反省を共有していたと
思います。

新倉 結局それに変るものをどれだけ作っ
たかということだと思います。でも、古いも
のを引きずっているかもしれないけれど新し
いものを生み出しつつあると思います。草の
根署名の運動にしろNEPAにしろ、そうい
う流れと結びついているわけだから。

梅林 それはそうですね。八〇年代、みん
ないろんな工夫がありましたね。

新倉 もう一つ運動の反省と反核運動への
取り組みの大きな契機になったのは、自分た
ちがやったアンケート調査でした。八二年で
す。自分たちも驚くような市民意識でした。
空母母港に賛成が一一%、反対が五三%、仕
方がないが二二%でした。あきらめの二二%

大騒ぎしたんですが、だれも「マイケル・ハ
モンドを軍法会議で裁くな」と言わない。日
本人に必要なのは彼の「証言」だけだっ
たというような、核問題の扱われ方への不信
感がありました。

もう一つは、市民グループでは軍都横須賀
を考えるのに自衛隊問題も重視していたん
ですね。そして核問題をやると自衛隊が見えな
くなる、という危惧がありました。これは間
違いだつたと思います。

梅林 反核運動に取り組み始めるときに、
地域に根ざした反基地運動だとか、自治体を
視野に入れた取り組みとか、運動戦略を意識
化したように見えます。それは、それまでの
運動に対する反省があつた訳ですか。

新倉 ありましたね。それまでは、結果的
にせよ、自分たちが頑張っているということ
を主張しているような運動のスタイルがあつ
たと思うんです。それは余り多くの人たちの
共感を生まなかつた。誉めてくれるんだけれ
ども、一緒にやろうと思ってくれない。

軍都解体というスローガンを掲げた頃には、
運動に飛び込むには地域から飛び出すことが
必要だと思っていました。たとえば、ぼくは
親父が基地で働いていた、誰かの親父は自
衛官であつたり、地域との関係は親が作つて
いて、それを切ることが運動の前に必要だつ



ヨコスカ定例デモ●毎月最後の日曜日
午後四時「臨海公園」(京浜急行「汐
入」下車五分)集合四時半出発(写真
は今年の「5・26国際行動」)

た。

梅林 相模原では、戦車阻止のテント村闘
争が終わった後、テント村は物理的な皆だつ
た、今度は市民の法の砦を創ろうと言つて戦
車阻止条令を作る運動を始めました。自分た
ちの地域への根つき方から考えると力量以上
の計画であつて失敗しました。しかし、そこ
には市民運動が何か独自のシステムを作り出
そうというアプローチがある訳で、その点は
よかつたのではないかと思っています。横須
賀の運動を見ているとその辺が、大分違つよ
うに思っていました。先程来た話はよく分
かりました。

新倉 それに出来た頃、市民グループの年令は若
かつたのでしょうか。

新倉 最年長がKさんで三四才。女性です。
男ではぼくらで二四、五才でした。あとは中
・高校生も入れて平均二〇才を割るという若
さでした。地域に市民として暮らしていると
いう感じではなかつた。

梅林 ライシャワー発言の頃に、それまで
の運動を反省する言葉で「ガンバリズムの持
つている閉鎖性」という新倉君の名言があり
ました。

正直なところ、今も余り変わっていないよ
うな気がする。(笑い)

新倉 差当り頑張る以外に方法がないん

を含めると七五%が母港に反対していたんですよね。この声を運動の力に出来ないのは運動に間違いがあると真剣に考えました。

●反トマホーク運動の広がり

梅林 非核市民宣言運動ヨコスカが始まりましたが、その広がりが反トマホーク草の根署名に生かされてゆくのでしょうか。

新倉 非核市民宣言に対する賛同署名者をつのり、署名者と反戦ネットワークを作るということで文字通り地域に入って行きました。

「いかにもヤバイ・トマホーク」というスライドを作って自分の町内の署名者に働きかけてスライドの上映会を組織しました。今から思うと驚異的なのですが、市内で四〇カ所のスライド上映会をやりました。

そういう活動の上に反トマホーク草の根署名運動を構想することが出来たと思います。トマホーク配備に反対する街ぐるみの運動をどう設計するかという議論を市民宣言運動の中で時間をかけてやりました。かつてなかったような広がりをもった反トマ草の根署名運動の核の部分がそういう形でできました。

ただ、今から思うと非核市民宣言の署名者と、はつきりとした形をとった関係を組織してこなかったという組織論の弱さがあった。

会員制をとるとか、会則を作るとか、議論したんですが「自発性にかけよう」という主張をばくはしてしまつた。

梅林 ぼくがいつも感じていたんですが、新倉さんたちの運動はすごく大衆的なようで、実はすごく大衆的な単純さを拒否するんですよ。(笑い)

新倉 自らがまるごと大衆という自覚が強いから、いつも「そのまま」では勝負できないと思つてしまつた。(笑い)

●インデペンデンスを迎える

梅林 さて、いよいよインデペンデンス母港です。八八年に七億ドルのSLEP(耐用年数延長工事)を終えたばかりですからほとんど新品の空母です。ミッドウエーはSLEP以後二〇年間使われましたから、下手すると相当長期横須賀に居座る可能性がありますよね。

すでに、NEPAの運動とか、航海日誌を日誌を入手して核疑惑を暴露するとか新しい運動が始まっている訳ですが、横須賀の運動のこれからの大枠の展望について話してください。

新倉 一つには平和船団の運動が発展性のある運動だと思います。海の上で活動する解

放感、経験した人が皆一致して語っています。もちろん、一部の人が出来な運動にしない配慮と工夫が繰り返しの必要だと思つています。

それから、組織論については時間をかけて考えたいと思います。鈴木茂樹君の市議選のあと、運動論はあるけど組織論がないという反省をしたのですが、この問題意識がみんなのものになつていく訳ではありません。横須賀では一番苦手な領域です。

梅林 反トマネットワーク全体にとつても同じ課題があると思います。

それから、基地撤去の道筋を考えるとアジア太平洋の軍縮への市民の関心を高めるとか、基地の無い横須賀の発展イメージを横須賀市民の中に大胆に喚起して行くとか、そういう領域の活動も必要だと思います。

新倉 昨年、ピース・フェスティバルの賛同金を出して下さいと「さいか屋」に行きました。「平和運動への投資が必要になる」とえらく遠回しに言つたんです。本物の街ぐるみになれば、もつとストレートに言えるようになると思つました。(八月一九日、横浜)



の存在を意味するものではない」

P C D Sは、米国、フィリピン、日本、韓国、ニュージーランド、オーストラリア、カナダ、フィジーの多数の平和団体の統合団体で、中心事務所を横浜にもつ。

この団体はミッドウエーの航海日誌を一九九〇年二月に請求。米政府が八、六七八頁、マイクロフィルム版の日誌を公開したが去る三月一四日。

梅林氏は、横須賀市と神奈川県自治体幹部に来週面会し、航海日誌の内容について知らせる予定とのこと。

同氏は、この日誌がきっかけとなって、日本の議員たちのあいだで日本と太平洋全域に於ける核兵器の問題に関する新たな論争が起こつてくれれば、と語っている。P C D Sはこの地域全域に於ける核兵器の全廃を目指している。

「日本政府は核問題についてもっと強く発言すべきだと私は考えます」と梅林氏。

彼の団体や他の同様の諸団体が確信するところでは、米国の何隻かの艦船は、日本領内に核兵器を持ち込んでいます。それなのに日本政府はおとなしく、この問題につき米政府に迫ることをしない。

米艦船上の核兵器についての推測は、常

Peace group says U.S. brings Narms to Japan

Pacific

TOYOYO — An international peace group has accused the U.S. of bringing nuclear arms to Japan. The group, which has been active in the Pacific region, says that the U.S. has been secretly transporting nuclear weapons to Japan since the late 1970s. The group's report, which was published in the Pacific region, says that the U.S. has been secretly transporting nuclear weapons to Japan since the late 1970s. The group's report, which was published in the Pacific region, says that the U.S. has been secretly transporting nuclear weapons to Japan since the late 1970s.

アメリカは日本に核兵器を持ち込んでいる

—平和団体が主張

"STARS AND STRIPES" 91.7.13

●米海軍の機密文書が、核兵器の存在を明らかにしている。米政府はこれを隠している。平和運動の記者は、この文書を公開し、核兵器の存在を明らかにしている。平和運動の記者は、この文書を公開し、核兵器の存在を明らかにしている。

東京発—ある国際的平和団体が、米空母ミッドウエーの航海日誌を入手した。この団体

は、航海日誌によれば横須賀を母港とするこの空母(ミッドウエー)は、核兵器を禁じた日本の政策を侵している可能性がある、と日本政府に対し主張していく予定である。この航海日誌にはミッドウエー艦内での一

九八四年から八六年までの活動が記録されているが、そこにはこの期間に三二回の核兵器事故演習が行われたことが示されている、と太平洋軍備撤廃運動(P C D S)の国際コーディネーターの梅林氏は語った。

航海日誌によれば、「ブローケン・アロウ(折れた矢)」と称されたこの演習は、一九八四年には十八回、八五年には一回行われた。梅林氏は、「日本には、核兵器は造らない持たない、日本領内に持ち込ませない」という非核三原則がある。ミッドウエー艦内でのブローケン・アロウ演習が見つかったことは、この日本の政策が侵されていることを意味する」と指摘した。

米政府は慣例として、あらゆる米艦船や軍事施設に於ける核兵器の存在を、肯定も否定もしない。しかし在日米海軍部隊のスポークスマンは、米海軍は世界各地で様々な演習を「様々なシナリオ」を使って行っている、と明らかにしている。

同スポークスマンによれば、「米海軍の核兵器装備可能な部隊の全ては、定期的にこのタイプの演習(「ブローケン・アロウ演習」のこと)を行い、船員の様々な兵器の扱いへの熟練を維持するのである。このような演習を行うことは、何ら特別な兵器

様、基地脇にある(株)日本飛行機の整備能力の高さは、グアム島などから他基地の飛行機も飛んでくるほどとなっています。
実は、艦載機は出航直前に二、三週間ほど出力一〇〇%で四時間のNLP訓練をしないと出撃できません。それを改めて実感したのは、昨夏の中東出撃のNLPでした。沖縄・岩国・三沢そして厚木と四カ所同時のフル訓練は、三十年住んできた私にとっても初めての騒音でした。米兵も戦闘のために死にたくない、実戦の訓練をしたのだと思います。
アジア安保へ変質しようとしている中、いっ紛争が起っても対処できるためには、もう一つ訓練場がほしいわけです。それも、一〇〇万人もの市民のいる明るすぎる厚木基地周辺以外に。その点ではヤミの硫黄島に日米共同使用の新しい二四時間空港をタダで作ってもらえるのは、米軍にとつてかなったりのことです。その上、インデペンデンスで二〇機も増える艦載機を吸収できるし、特にF18の一八倍の推進力、一・五倍の重さを持つF14トムキャットの騒音を少しでも薄めれば、地元住民をごまかせると言った所でしょうか。
しかし、八月一五日大和駅前で行った緊急アンケート「一〇〇人に聞きました!硫黄島で騒音は減ると思いますか」に私の予想に反し、市民はさめた見方で国の半分移転にごま

知らない、と述べた後に、反核活動家たちが抗議行動をおこなっている。
エドウィン・O・ライシャワー前大使が一九八一年に、日本に来る米国艦船は核兵器を搭載していることがあると発言した際にも、同様のデモが取り組まれている。
訳●川崎 哲
厚木基地の所在地は大和・綾瀬両市：編集部注
◆大和から
硫黄島ができて騒音被害は変わらない?
久保博夫●厚木基地を考える会
ミッドウェー艦載機の最後の集中訓練の最中、アリバイづくりのよう四〇〇億円もかける硫黄島NLP訓練場で四機だけの試験飛行を行いました。これは、三年前(二八〇〇人の厚木基地包囲の人間の鎖行動のあと)、日米合同委員会で決定された、「NLPの半分移転」(但し新聞報道)の公約を果たさないものでした。そして今、ヨコスカを母港とする空母はいないので(この一ヶ月にならざる)

以降新たな運動や切り込みが必要であることの流れであるかも知れません。湾岸戦争の検証を含め、二十一世紀への持続した運動の体力と、地域の現状と特性にあった運動づくりが必要かもしれません。
今、厚木基地をとりまく騒音問題には硫黄島訓練場を軸に幾つかの具体案のせめぎ合いが進行中です。まず、『母港化反対』。爆同(厚木基地爆音防止既成同盟)と大和市・県などが提案している『昼の訓練も含めた硫黄島全面移転』(技術的に可能)。自民党系党派や一部自治体の『NLPのみ全面移転』、そして国の『NLP半分?移転』。その中で、市民の反応を見ながらの防衛庁のなしくずしの動きが進むようとしています。地元の社会党・公明党は母港反対と昼の全面移転の両方にのりながら、具体的な運動は様子見となっています。
残念ながら、硫黄島での建設は少しづつ進み、インデペンデンスの入港はさし迫っています。私たちの理想である「基地反対」をかかげながら、どのように市民の目に見える運動をもつかが難しい。NEPAの会の米国直接訴訟は、新しい可能性を示しています。情報公開法など米国の開放性を学びフルに活用しながら、地域からたたかっていると思

甘く見られていることの流れであるし、湾岸

(九一・八・一九記)◆

に両国政府にとって微妙な問題となり、幾度となく大きなデモを引き起こしてきた。
例えば一九七〇年代半ばに逆のぼってみれば、海軍退役少将ジーン・R・ラロック氏が両院合同原子力委員会に対し、彼の経験では核搭載可能な艦船は常に核兵器を搭載しており、入港前に荷落ろししたことなどまったく

空母の母港をやめさせることが一番
私たちは、神奈川を始めとして全国の米軍基地の強化を二十一世紀にまで続けてしまう空母インデペンデンスの母港化に反対し運動を掲げています。周囲の市民団体とともに『インデペンデンスはいらない!県市民の輪』という緊急運動体をつくりました。学習
空母の母港化と厚木基地の現状について、若干の報告と今後について少し述べたいと思います。基地内には、整備格納庫と洗機場(増えた分の駐機場にもなれる)もできあがり、基地の金網沿いはほとんど施設が作られつつあります。又、ヨコスカの艦船修理部同



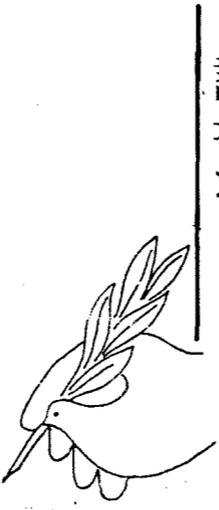
NLP(夜間離発着訓練)の艦載機の軌跡(神奈川県発行のパンフより)

●海外派兵は絶対許されない。八月五日開会の臨時国会に自衛隊の海外派兵をたくらんだ「PKO」協力法案が上程されようとしている。臨時国会で直ちに対応を迫ろうと構えている海部首相は「国連平和維持活動」への参加だから憲法に「抵触」しないと断言して国民をあざむこうとしている。アメリカの軍事力削減が示すように削減した軍事力と財源を日本に堅持させようとするものと同様である。国連と平和を唱和しておれば平和のために国連のためにといいながら戦争を増大して行くのだ。心の平和のために闘いませう。

(宮崎茂/唐津市/農業)

●第六九号「読者から」にのった「港区/A・Y」さんの意見、おもしろかった。A・Yさんと同じように、「虫」さんは「よい情報」を教えてくださいと思うので、もうしばらくは送ってまいります。

A・Yさんは「虫」さんが「ちょっと白人



読者から

原子力艦入港情報

通算400回目の原潜入港!!
ヨコスカ

1991年7月16日～8月15日

P級=原子力潜水艦パーミット級
S級=原子力潜水艦ステーション級
L級=原子力潜水艦ロサンゼルス級

◇7月22日	午前9時52分原潜ホノルル(L級)横須賀を出港。
◆7月23日	午前9時09分原潜ロサンゼルス(L級)横須賀に入港…通算400回目!
◆7月23日	午前10時02分原潜バサディア(L級)横須賀に入港。
◇7月27日	午前8時50分原潜ロサンゼルス(L級)横須賀を出港。
◇8月2日	午前9時56分原潜バサディア(L級)横須賀を出港。
◆8月3日	午前9時54分原潜バサディア(L級)横須賀に入港。沖泊まり。
◇同日	午前10時10分原潜バサディア(L級)横須賀を出港。
◆8月6日	午後4時04分原潜ハドック(P級)横須賀に入港。
◇8月8日	午前7時48分原潜ハドック(P級)横須賀を出港。
◆8月9日	午後4時30分原潜ハドック(P級)横須賀に入港。
◇8月11日	午前9時45分原潜ハドック(P級)横須賀を出港。
◆8月12日	午後4時05分原潜バサディア(L級)佐世保に入港。
◇同日	午後4時19分原潜バサディア(L級)佐世保を出港。

●1990年1月1日から8月15日の各地への原子力艦入港回数

横須賀	20回(うち原潜20回)
佐世保	2回(うち原潜2回)
ホワイトビーチ	2回(うち原潜2回)

かぶれ」と書いていますけど、よい白人にかぶれるのなら、よいことでしょう。肌の色が他の色でも、悪い人は多いのだから、肌での区別はない、いい人はいい。

(清水知久/東京都/教員)

●軍縮の傾向にさからって日本の軍が強化されようとしている傾向のうしろには、海外権益の後押しもあるとほぼ想像はついているのですが、なかなか証拠がつかえません。もう少し広く世論に訴える工夫をしなければならぬと、いろいろ頭を絞っています。沖縄に居ると、その点は敏感になるのがあるがたいところ。かなわぬことであっても、知事は米国まで出かけておりますし、世論作りの

積み上げはなされています。こちらも何かやってみます。(宇井純/那覇市/沖縄大教員)

●ウンドウかいわいのミニコミにしてはわりとポップな紙面になりましたね、近頃。喜ばしいことです。大学生あたりのバックアップがうかがえ、うらやましいかぎりです。表紙イラスト、毎回楽しみにしています。毎年こちらで野外コンサートをやっています。今年は一・二・四ですが、もし来年のポスター、チラシ、書いてみる気があれば連絡ください。(芸能文化対応市民運動支援システムズ・恒河社 ☎0433-233-8753)

一沖縄人のうめき

山里勝一
沖縄キリスト教センター館長

みなさん、次の数字が何を意味しているか御存じでしょうか。

一、〇・六、七五：沖縄の人口は、全国の約一%、面積は、全土の〇・六%、小さい、貧しい沖縄に全国の米軍専用施設の七五%がひしめきあっています。沖縄に米軍基地があるのではなく、米軍基地の中に沖縄があるといっても良いのではないのでしょうか。

基地の返還、縮小を願って様々な運動が展開されて参りました。そのつど、政府の、あるいは、米軍の返答は、日米安保条約を盾に基地の維持存続を強調して参りました。なぜ、日本の安全保障のために沖縄が苦しまなければならぬのか。

一九四五年度の沖縄戦では、本土防衛、国体護持の名のもとに多くの沖縄人の命が「鴻毛の軽き」が如くに戦場の露と消えました。言わば沖縄以外の四六の府県を守るために沖縄が犠牲を強いられました。一九五二年に発効したサンフランシスコ条約によって日本は、連合国側に沖縄を売り渡し、自国の独立を獲得しました。一九七二年の復帰実現まで沖縄人は米軍支配下で生活することを余儀なくされました。沖縄切り捨てによって日本の現在は築き上げられたといえるでしょう。

平和憲法のもと、基地のない平和な沖縄を取り戻すために沖縄人は(祖国)復帰運動を展開して参りました。しかし、我々の(祖国)は、米軍基地はもろろんのこと日本の軍隊である自衛隊を進駐させ、基地を強化しました。かつて現人神と呼ばれた人が米軍による沖縄の永久使用を提案して皇祖皇宗を安心させ、天皇家の安泰を確保しようとした。その同じ論理が沖縄への基地の集中化をもたらしているとは思いませんか。

現在国によって強制使用されている米軍用

地の契約が九二年五月に期限切れになります。それ以後の強制使用について審理する沖縄県収用委員会の第一回公開審理が八月一四日に開かれ、防衛施設局による強制使用申請(米軍用地特措法に基づく)の審理が行なわれるはずでしたが地主側が委員の忌避、除斥、回避その他を要求、実質審理に入れないまま終了をはかっています。

反戦地主の面々は、自分の土地が軍用地として使用されることを許すことができず、あらゆる戦術を駆使して軍用地の強制使用の阻止をはかっています。

「トマ喰い虫」この一沖縄人のうめき声をお聞きになって「基地喰い虫」に变身しませんか。そうすれば、トマホークも爆弾も、あらゆる殺戮兵器を喰い潰し、「命どう宝」を標榜しつつ、平和の実現に邁進することができるとは思いませんか。



会計報告

(91. 7. 16~8. 15)

[収入]

○前月からの繰越	285,133
経常繰越	435,133
借入金繰越	△150,000
○今月の収入	165,548
会費収入	137,000
内	
維持団体	0
維持個人	17,000
参加団体	24,000
参加個人	22,000
通信会員	74,000
カンパ収入	22,060
行動収入	0
資料収入	5,500
反核ホットライン収入	0
雑収入	988

[支出]

●今月の支出	229,424
家賃(8月分)	30,000
水道光熱費	7,550
電話代	34,331
郵送費	49,460
文具代	0
印刷費	67,608
行動費	37,825
資料経費	0
反核ホットライン経費	0
雑費	500
郵便振替等手数料	2,150
●次月への繰越	221,257
経常繰越	371,257
借入金繰越	△150,000

編集室から

め まぐるしく転がりつづける世の中。三流ラッパ吹きの際の音色もついついかけつてしまひそうです。でもそれにもメゲず、平和チンドンは今日も行くのだ。インデペンデンスがやってくる。みんなのでかい歌声で、黒いキカイを迎えようとう。(ま)

世 界の耳目を集めたソ連保守派のクーデターは失敗に終わりました。またひとつ、歴史絵巻に書き加えられる事件として人々の記憶に残るでしょう。振りかえれば記憶されるべき事件があまりにも多く、矢継ぎ早に続

きました。世界を、歴史をどう見たらいいのか頭の混乱はまだまだ続きそうです。(お)
こ の激動の世の中。見つめつづけることは大変つらい。やめてしまつて自分だけの世界に閉じこもりたい。しかし「理論は灰色、現実には緑」と言うように、つらく大変だけど心と体を大きくひらいて、意を決して「緑の中」に自分の身をひたすことができるかどうか?これは私たちの生きる「今」を光あるものに、また後の世代へよりよき贈り物を残す分岐点であるでしょう。(な)
と いうわけで、今月も無事「トマ喰い虫」は完成した。めでたい。今月は(せ)さんと(か)さんがワープロ打ちと貼り込みをほとんど一手に引き受けてがんばってくれた。

しまった、彼女たちにこそ「編集後記」を書いてもらうべきであったと、悔やんでみてもう遅い夏の夜ふけなのであった。
 ツドウェーが横須賀を母港にした十八年前、私はすっかりK〇ボーイしておりました(笑ってはいけない)。横須賀の空母より、目の前の彼女が何回微笑んでくれるか、が人生最大の問題であった。それが今はこんな編集後記を書いているのだから、人生って面白い。それを一瞬のうちに消し去ってしまった核や戦争を、だから許せないと思う。(た)

●編集や発送を手伝ってくれるボランティアを募集しています。連絡下さい。来月の発送は 9月22日(日)午後2時から日吉の分室で。一度のぞきにきてください。
 ☎〇四五(五六三)五一〇一

月刊トマ喰い虫第七十号

一九九一年八月二十日発行(通巻七十一号)

*発行 トマホークの配備を許すな! 全国運動

〒一五〇 東京都渋谷区渋谷一五一九

パール青山五〇二 トマ喰い虫社

☎〇三(三四九八)六〇九五

〇四五(五六三)五一〇一

FAX〇四五(五六三)九九〇七

郵便振替 東京六一三六一四八

*編集 トマ喰い虫編集委員会

*定価 一〇〇円(通信会員年間二〇〇円)